

和の光

宝塚市立西谷中学校



誰もが通しやすい学校づくりに向けて

～意見箱の手紙、生徒・保護者のみなさんとの対話から感じたこと～

校長 筒井 啓介

先日、私の手元に1通の手紙（私が生徒朝礼で「学校生活で感じていることや、誰もが楽しく通える学校づくりのアイデア等を書いてください」と話して配った用紙）が届きました。学年・名前は無記名（匿名でも可能と伝えていますが）でした。内容は「学校が楽しくない」とだけ書かれていました。私は、この手紙を読んでとても衝撃を受けました。

西谷中は全校生徒わずか44名の小規模校ですが、多少は「学校が楽しくない」と感じている生徒がいるとは思っていましたが、実際に文字として伝えられたのは初めてだからです。

この手紙を書いた生徒はきっとそれなりの理由があって「学校が楽しくない」と感じているのでしょう。私は、この手紙を受け取り、「話すことはできなくても、勇気を出して文字で表現してくれたのだ」その思いをしっかりと受け止めなければいけないと思いました。

皆さんの人生において中学時代は一度きりのかけがえのない時期です。私は、この時期にたくさんの友達や先生と出会い、共に学校生活を送る中でたくさんの経験（共に笑い・時には涙を流す）を積んで欲しいと願っています。そのために生徒の皆さん、先生方と知恵を絞って動くのが校長の責務と考えています。

この生徒がいったい何に悩み、どのような理由で「学校が楽しくないのか」を理解しなければいけないとは思いますが、名前がないため直接話すことはできません。でも、校長としてもっと学校の様子（授業・部活・友人関係など）に敏感になり、一人一人の生徒に寄り添える努力が必要だと感じました。そうすることで、この手紙をくれた生徒からの信頼関係が深まれば、きっといつかは名前を書いて相談（または、私のところに相談に訪れてくれるかも…）してくれる時がくると願っています。

この手紙以外にも直接私のところに話をしにきてくれた生徒もたくさんいます。その中で感じたことは、多くの生徒が学校に楽しく通っていますが、いろいろな悩み（勉強や進路に対する不安、人間関係の悩みなど）を持っている生徒がいることが分かりました。また、行事でやってみたいこと、西谷の特徴である園小中の交流を更に深めていきたいなど、建設的な意見を持っている生徒がたくさんいることが分かりました。（現在までに、生徒14人・保護者3人とお話ができました。また、3名の生徒からも手紙をいただきました。）

私は、たくさんの意見を聞かせていただくことができ、本当に嬉しく思っています。全ての意見を完璧に実現するには課題もたくさんありますが、現状を少しでも改善し、さらに「誰もが楽しく通える学校づくり」が実現できるように、校長として生徒のみなさん・先生方と力を合わせていく覚悟でいます。まだまだ力が足りない面もあると思いますが、どうかこれからたくさんの声を聞かせていただくと嬉しく思います。また、保護者・地域のみなさまには西谷中の教育推進について引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

■子どもの権利について考える

皆さんは「子どもの権利条約」という条約を知っていますか？ この条約は、世界中の子どもたちが、安全な環境で、安心して、自分に自信をもって生活ができるために守られるべき権利について定めた世界の合意であり、日本を含む批准国の政府に、その実施を求める法的拘束力のある国際法です。1989年11月20日国連総会第44回会期において全会一致で採択され、日本は1994年に批准しています。子どもの権利条約の基本的な考え方は、次の4つ（4つの原則）で表されます。それぞれ、条文に書かれている権利であるとともに、あらゆる子どもの権利の実現を考える時に合わせて考えることが大切な「原則」であるとされています。これらの原則は、日本の子どもに関する基本的な法律である「こども基本法」にも取り入れられています。

【4つの原則】

○差別の禁止（差別のないこと）

すべての子どもは、子ども自身や親の人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。

○子どもの最善の利益（子どもにとって最もよいこと）

子どもに関することが決められ、行われる時は、「その子どもにとって最もよいことは何か」を第一に考えます。

○生命、生存及び発達に対する権利（命を守られ成長できること）

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されます。

○子どもの意見の尊重（子どもが意味のある参加ができること）

子どもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮します。

このような原則を見て、みなさんはどのように感じましたか。どれも当たり前のことですが、日本を含む世界の国々を見た時、これらの原則が十分に満たされているか疑問に思うことはないでしょうか？ 例えば、皆さんが普通に受けている教育についても国によっては十分に保障されていないことがあります。また、日本においても時々、子どもが虐待を受けて尊い命を失うような事件が起きています。

その他、皆さんが過ごす学校や地域・社会に目を向けた時に疑問に思うことや問題に思うことはないでしょうか？ 社会は大人だけの考えでつくるものではありません。大人には子どもの最善について考える義務があるし、子どもには意見を述べる権利もあります。つまり、子どもも社会の一員として尊重されなければなりません。少し話は変わりますが、学校生活についても当然みなさんの意見が尊重されなければならないし、意見を述べることは権利として保障されなければなりません。来週には生徒総会が実施されます。各学年のみなさんから「誰もが楽しく通える西谷中」を目指してたくさんの質問が出されているようです。ぜひ、生徒総会では活発な意見交流ができることを願っています。



■避難訓練を行いました（園・小・中合同）

6月27日（木）に園・小・中が合同で避難訓練（小学校理科室からの出火を想定）を行いました。全員が非常放送の指示に従って速やかにグラウンドに避難することができました。私は、避難するみんなの様子を見ていて、放送と先生の指示に従って慌てることなく整然と行動する姿が素晴らしいと感じました。火災や地震などの災害はいつ発生するか予測は困難ですが、日頃からの備えが大切だと思います。また、自分の命は自分で守ること。そのことが他の人の命を守ることにもつながると思います。今日の訓練を通して学んだことを今後活かして欲しいと思います。



消防隊の方から消火器の使い方を学びました



消火器を使って初期消火に挑戦しました

■仲間と共に学ぶ楽しさ（1年生 総合的な学習の時間）



みんな真剣な眼差しで説明を聞いています

1年生の総合的な学習の時間を覗いてみました。みんな真剣な眼差しで大型テレビの画面に注目しています。担任の先生の説明によると、新聞の書き方についての学習をしているようです。具体的には、読み手の目を引付けるための工夫、限られた文字数で正確に情報を伝える工夫など…。

今の子どもたちは GIGA スクール構想で配布されたパソコンを使ってプレゼンテーションをしたり、新聞を書いたり、手軽に自分の調べたことや考えを発信することができます。とても素晴らしい学習環境にあると思います。私は、以前教育委員会に勤務していた時に GIGA スクール構想の実現のために必要な予算どりやシステムの構築に関わっていましたが、そのパソコンが子どもたちに文房具感覚で使ってもらえる様子を見てとても嬉しく思います。これからも、様々な場面でパソコン等を使い子どもたちの「情報発信能力」を育めるように西谷中の教職員で力を合わせていきたいです。

6月28日（校長）